

## 屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討会について

平成28年12月25日に、第1回屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討会を開催したので報告します。

1. 日 時 平成28年12月25日(日) 10:00-12:30
2. 場 所 離島開発総合センター2階会議室
3. 出席者

【検討委員 五十音順。敬称略】

柴崎茂光(国立歴史民俗博物館 准教授)  
土屋俊幸(東京農工大学大学院 教授) ※座長  
吉田正人(筑波大学大学院 教授)

【関係機関】

林野庁九州森林管理局  
鹿児島県  
鹿児島県教育委員会  
屋久島警察署(欠)  
屋久島町  
公益財団法人屋久島環境文化財団  
屋久島町議会  
屋久島町区長連絡協議会  
公益社団法人屋久島観光協会  
屋久島山岳ガイド連盟  
屋久島レクリエーションの森保護管理協議会  
宮之浦岳岳参り伝承会(欠)

【オブザーバー 五十音順。敬称略】

大山勇作(屋久島世界遺産科学委員会委員)  
日下田紀三( )

## 4. 検討会概要

### (1) 設置趣旨

屋久島の山岳部は、世界遺産登録以後、入山者が増加し、登山道沿いの植生荒廃、施設の整備・維持管理、利用の集中による体験の質低下などの課題が発生した。2008年以後は来島者が減少傾向に転じ、転換期を迎えている。

縄文杉登山はじめとする登山利用は、屋久島の重要産業である観光の大黒柱となっ

ており、今や登山者の増減は島の社会・経済にも影響を及ぼす。

登山利用に関して、これまで植生の保護や利便性のための施設整備と、し尿処理等の維持管理に追われ、個別テーマについて議論等する際には議論の欠落が指摘されつつも山岳部全体の適正な利用についての議論ができず、世界自然遺産・国立公園管理者として計画的で前向きな利用体験の提供、利用者管理ができずにいた。

このため、国立公園山岳部の自然環境を適切に保全して次世代に継承するとともに、山岳部利用者には屋久島らしい質の高い自然体験を提供することを目指して、利用についてのビジョンを定め、利用ゾーニングに基づく施設の整備や利用者管理方策、サービス等を検討するための検討会を設置することとした。

## (2) 検討内容

- ①屋久島山岳部の適正な利用に関するビジョンについて  
理念、目指す姿（目標）と目標実現のための基本方針 等
- ②適正利用のためのゾーニングについて  
ゾーニングの設定、ゾーニングごとの（管理）目標・方針 等
- ③施設の整備、維持管理について  
施設整備の方針、内容、整備水準、維持管理の方針 等
- ④利用者管理とサービスの提供について  
利用者管理の方針、方策  
利用者へのサービス提供の方針、方策 等
- ⑤その他  
モニタリング、その他山岳部の適正利用に関する必要な事項

## (3) 検討スケジュール

平成28年度～平成30年度	基本理念・基本方針 ゾーン設定等
平成31年度～平成32年度	施設整備、整備水準、維持管理 利用者管理、利用者サービス

## 5. 会議概要

- (1) 検討会の設置について
- (2) 趣旨、検討内容、スケジュール等について
- (3) 屋久島の社会経済、山岳部の歴史、利用、施設整備等の推移と状況について
- (4) 山岳部の保護と利用に関する課題の変遷について